

## 定期試験対策のポイント

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただきましてありがとうございます。

1週間後ぐらいに、ありとあらゆる教育機関で期末試験が実施されると思いますので、今日はその対策についてお話しします。是非お聴き下さいね。この放送をお聴き下さっている社会人の方の中にも勉強をしている方がいらっしゃると思いますので、参考にして下さい。

いくつかのポイントがあります。1つ目は、自覚を持つことです。自覚とは、目標を持つことです。例えば、「期末試験で百点を取るぞ。」と自覚を持って欲しいのです。強い決意を固めて欲しいのです。

2つ目は、何を使って勉強するのかを明確に決めて欲しいのです。期末試験には、学校からテストの範囲表が必ず配付されます。まだ配られていない人はテスト範囲を推測して下さい。そして、範囲表を見て何を使って勉強するかを決めて下さい。また、教科書・ノート・副教材・学校で使っている問題集の出題範囲も明確にして下さい。

開倫塾で提唱している「学習の3段階理論」の1つである「理解」は、「うん、なるほど」と分かることをいいます。分からないところがある人は、一度勉強したことですから辞書や参考書を使って自分の力で「理解」する努力をして下さい。それでも分からない時は、先生に質問して必ず解決して下さい。

3つ目は、「理解」ができていることを前提とした「定着」です。では、「定着」、つまり身に付けるためにはどのようなことをしたらよいのでしょうか。3つあります。

まずは、音読です。教科書・ノート・参考書などを声に出して読むことを音読といいます。読みながら、出題範囲内の隅から隅まで覚えて下さい。高得点が取れますよ。「そんなことができるのか」と思う方もいるかもしれませんが、一度「うん、なるほど」と理解していることですから可能です。3、4回読んでいる内にはほとんど覚えられますので、音読をして隅から隅まで覚えて下さい。

次は、書き取りです。音読していて書けないような語句は、書く練習をして下さい。そのときは、楷書、つまり教科書に書かれているような文字で練習して下さい。採点者が読めるように書けなければ点数にならないからです。

最後に、数学などは、3、4回じっくりと解いて、解き方を身に付けて下さい。それができるようになったら、易しい問題は問題を見た瞬間に条件反射で答えが出せるくらいまで繰り返し行って下さ

い。易しい問題が短時間で解ければ、難しい問題に多くの時間を使うことができます。よって、テストでもよい点を取ることができます。

今お話したことを実行していただければ、100点を取ることができます。ただ、これには時間がかかります。ですから、テスト間近の何日間は、寝ているとき以外は勉強をして欲しいと思います。テストの出来は「定着」のための作業をするかしないかで決まりますので、是非頑張ってください。